

2019年度就職・採用活動に関する調査(企業)

速報版(概要)

2019年10月30日

調査概要

調査目的

企業における採用活動の状況を把握し、今後の就職・採用活動の円滑な実施の検討に資すること。

調査主体

文部科学省（就職問題懇談会と協力して実施）

実施方法

対象：全国の企業 2,500社（全国の企業より規模、地域、業種のバランスを考慮し無作為抽出）

方法：調査票の送付

期間：2019年7月17日（水）～8月7日（水）

8月1日現在の状況を回答

回答率

発送数：2,500件 有効回答数：980件 回答率：39.2%

属性

1. 従業員数

全体	100名未満	100名以上～ 300名未満	300名以上～ 500名未満	500名以上～ 1,000名未満	1,000名以上～ 5,000名未満	5,000名以上～ 10,000名未満	10,000名以上	無回答
980	73	433	127	85	125	65	70	2
100%	7.4%	44.2%	13.0%	8.7%	12.8%	6.6%	7.1%	0.2%

2. 所在地

全体	北海道・東北	関東 (東京以外)	東京	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	無回答
980	91	139	266	175	172	81	53	3
100%	9.3%	14.2%	27.1%	17.9%	17.6%	8.3%	5.4%	0.3%

3. 業種

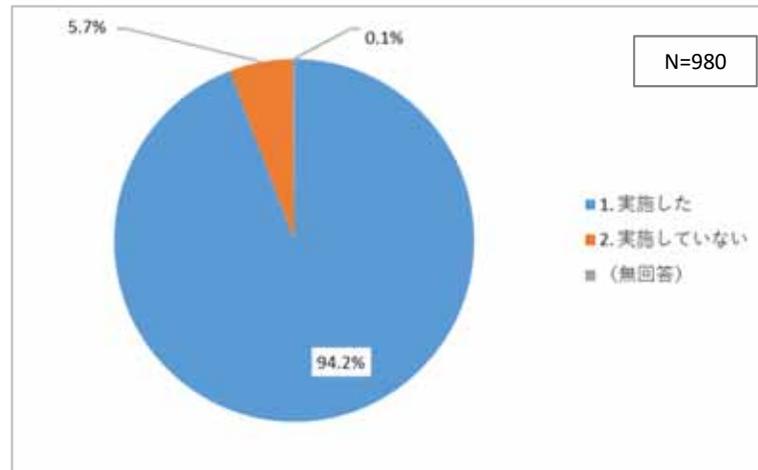
全体	鉱業・砕石業、 砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱 供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便 業	卸売業、小売 業	金融業、保険 業	不動産業、物 品賃貸業	学術研究、専 門・技術サー ビス業	宿泊業、飲食 サービス業	生活関連サー ビス業、娯楽 業	教育・学習支 援業	医療、福祉	サービス業 (他に分類さ れないもの)	その他	無回答
980	2	95	354	15	72	39	191	24	13	15	14	10	14	28	56	30	8
100%	0.2%	9.7%	36.1%	1.5%	7.3%	4.0%	19.5%	2.4%	1.3%	1.5%	1.4%	1.0%	1.4%	2.9%	5.7%	3.1%	0.8%

本年度（2019年度）の採用活動状況

< 採用活動を実施した企業 >

94.2% (前年度比 0.4ポイント)

本年度、採用活動を実施しましたか（当てはまるものを一つ選択）



【参考：昨年度調査】

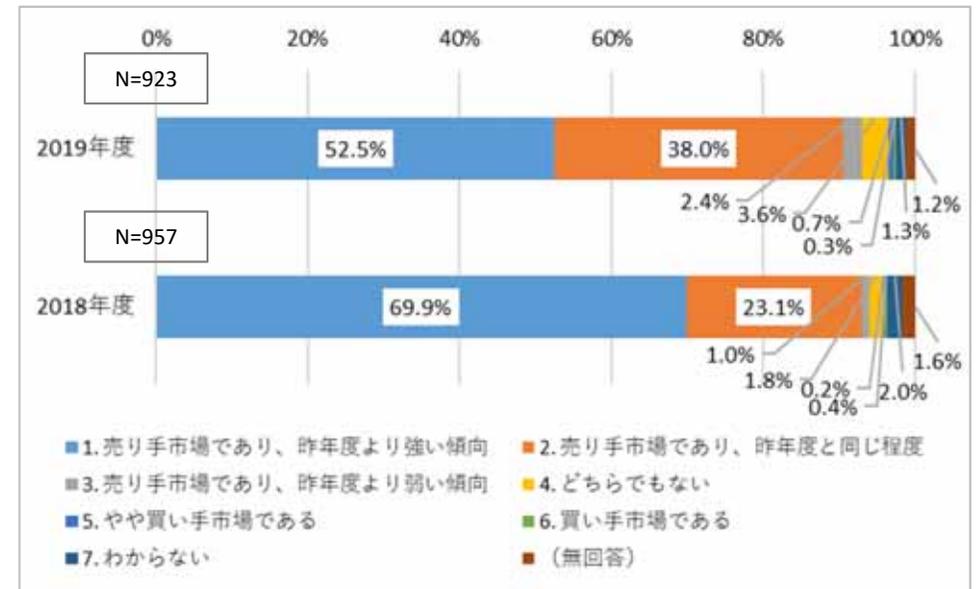
実施した94.6%、実施していない5.4%、無回答0.0%

< 本年度の就職・採用市場 >

92.9%が売り手市場と認識(昨年度比 1.1ポイント)

52.5%が「昨年度より強い傾向」と認識

本年度の就職・採用市場は全体として売り手市場ですか、買い手市場ですか（当てはまるものを一つ選択）



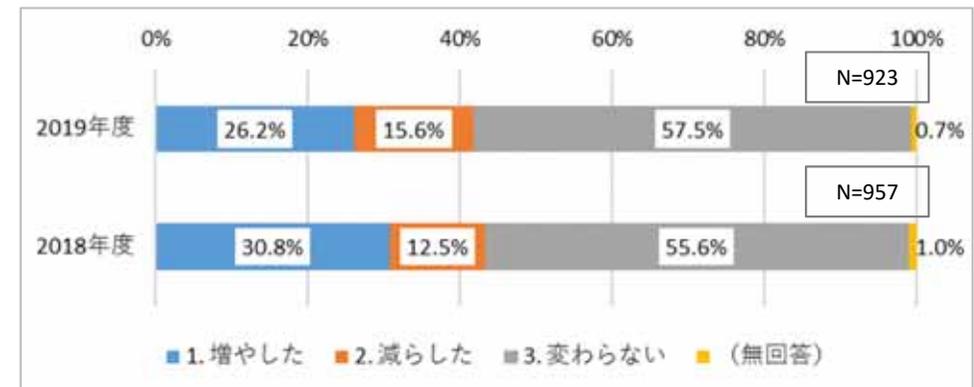
< 採用予定者数の増減 >

増やした 26.2% (昨年度比 4.6ポイント)

減らした 15.6% (昨年度比 + 3.1ポイント)

変わらない 57.5% (昨年度比 + 1.9ポイント)

昨年度に比べ、採用予定数の増減はありましたか（当てはまるものを一つ選択）



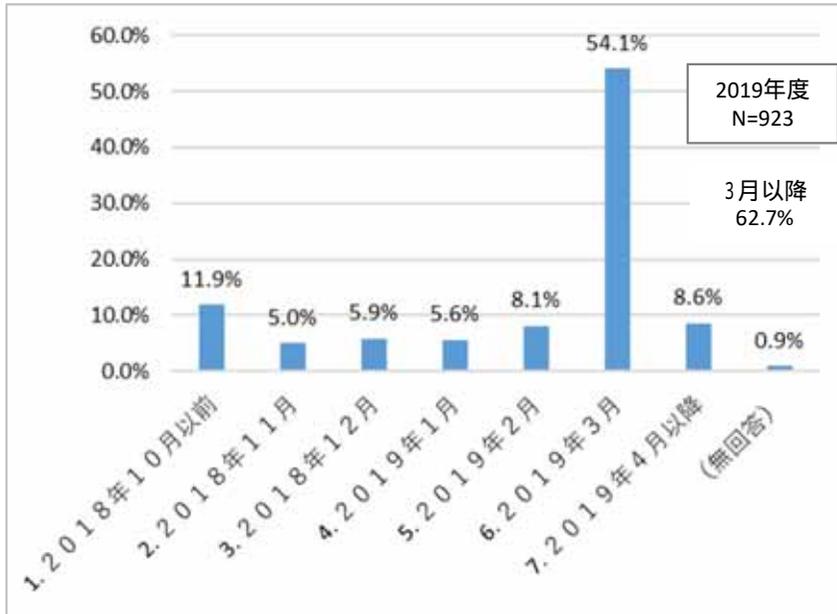
(注) 本調査において、採用活動の時期や実態・影響に関する設問は、本年度の採用活動を「実施した」と回答した企業（回答企業全体の94.2%（923社））のみが回答したものと見なす。

広報活動開始時期

< 企業全体 >

- ・ 広報活動を3月開始とする企業が最も多い
- ・ 3月以降に開始した企業は62.7%
(昨年度比 9.2ポイント)

広報活動を開始した時期はいつでしたか(当てはまるものを一つ選択)



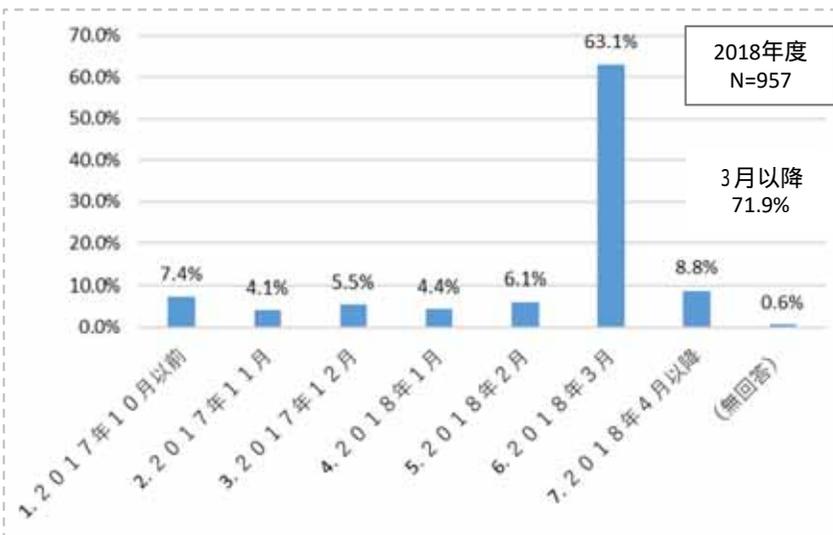
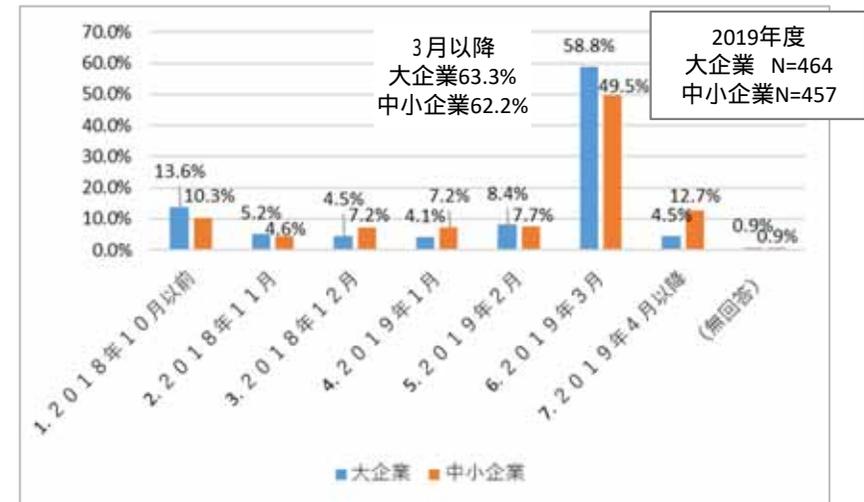
< 大企業 >

- ・ 3月開始が最も多い
- ・ 3月以降の開始は63.3%
(昨年度比 10.6ポイント)

< 中小企業 >

- ・ 3月開始が最も多い
- ・ 3月以降の開始は62.2%
(昨年度比 7.9ポイント)

広報活動を開始した時期はいつでしたか(当てはまるものを一つ選択)



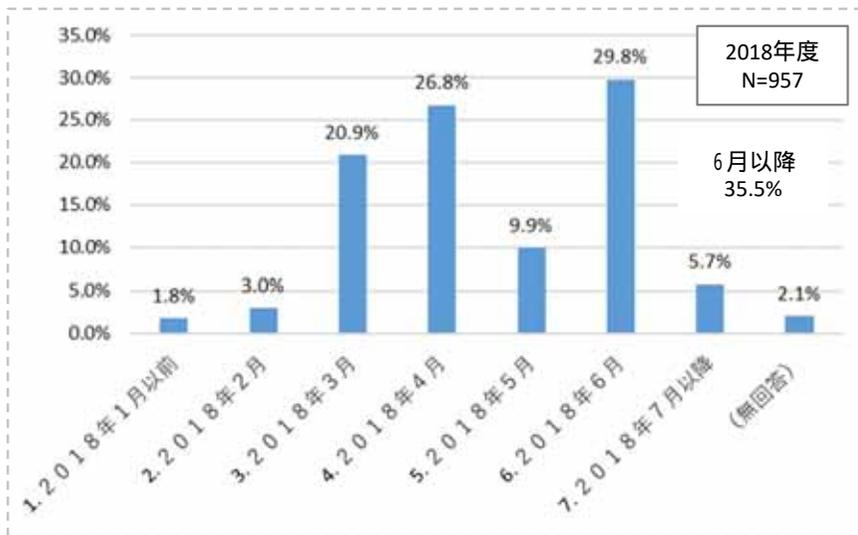
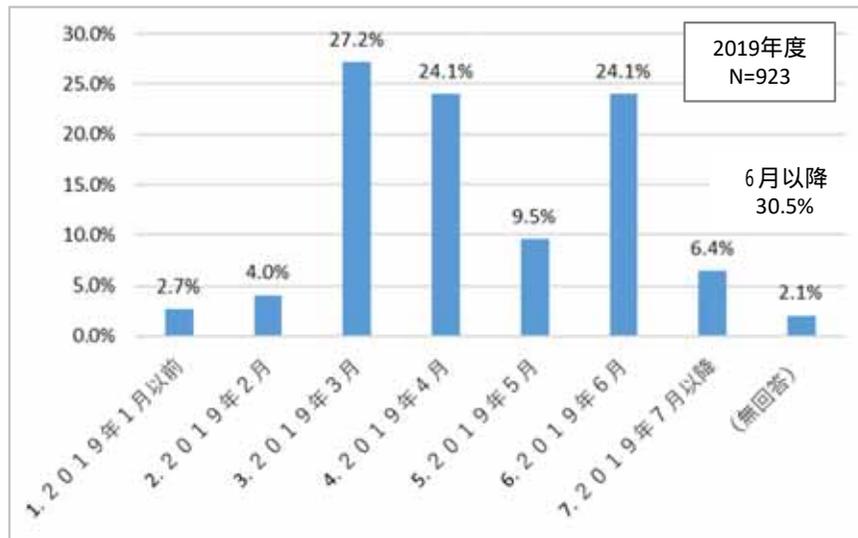
従業員数300人未満と回答した企業を「中小企業」、従業員数300人以上と回答した企業を「大企業」とした。本年度採用活動を実施し、かつ従業員数について回答のあった大企業464社、中小企業457社について集計。

採用選考活動開始時期

< 企業全体 >

- ・採用選考活動を3月開始とする企業が最も多く、次に4月、6月開始
- ・6月以降に開始した企業は30.5% (昨年度比 5.0ポイント)

採用選考活動（面接等）を開始した時期はいつでしたか（当てはまるものを一つ選択）



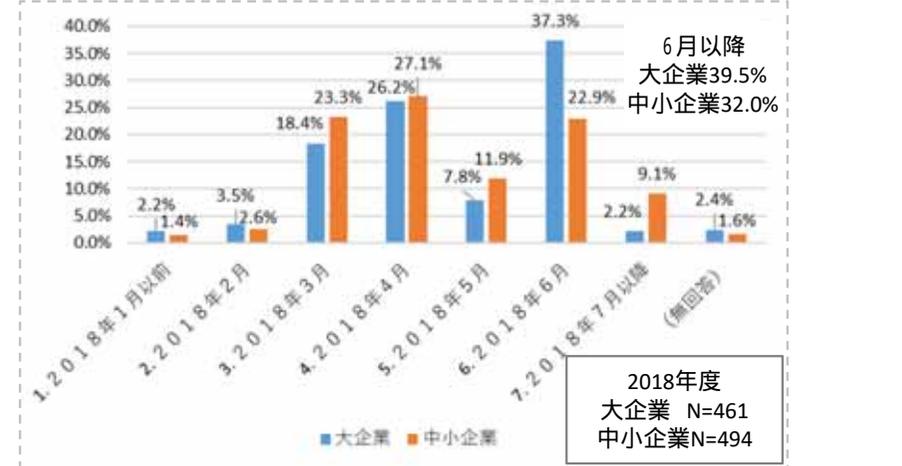
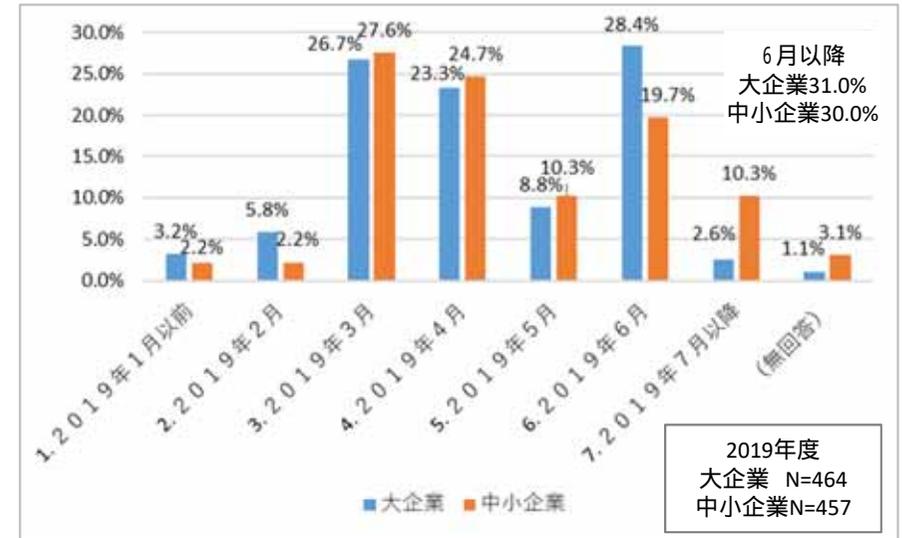
< 大企業 >

- ・6月開始が最も多い
- ・31.0%の企業が6月以降に開始 (昨年度比 8.5ポイント)

< 中小企業 >

- ・3月開始が最も多い
- ・30.0%の企業が6月以降に開始 (昨年度比 2.0ポイント)

採用選考活動（面接等）を開始した時期はいつでしたか（当てはまるものを一つ選択）



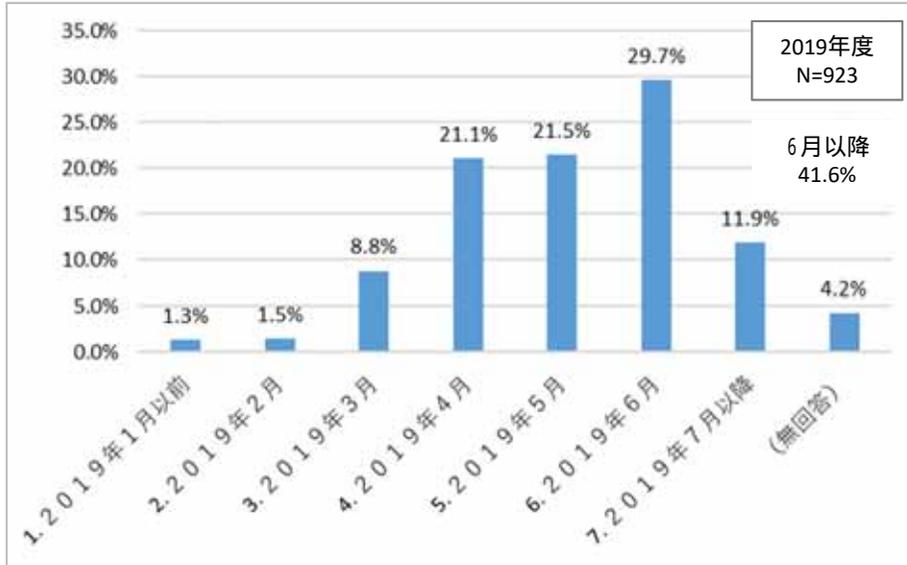
従業員数300人未満と回答した企業を「中小企業」、従業員数300人以上と回答した企業を「大企業」とした。本年度採用活動を実施し、かつ従業員数について回答のあった大企業464社、中小企業457社について集計。5

内々定を出し始めた時期

< 企業全体 >

- ・6月に内々定を出し始めた企業が最も多い
- ・41.6%の企業が6月以降に内々定を出し始めた
(昨年度比 7.2ポイント)

内々定を出し始めた時期は、いつでしたか(当てはまるものを一つ選択)



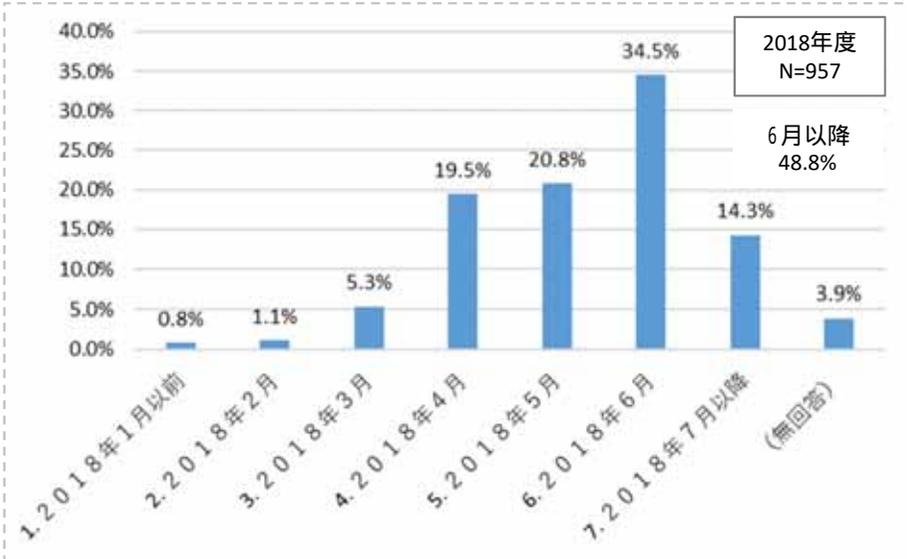
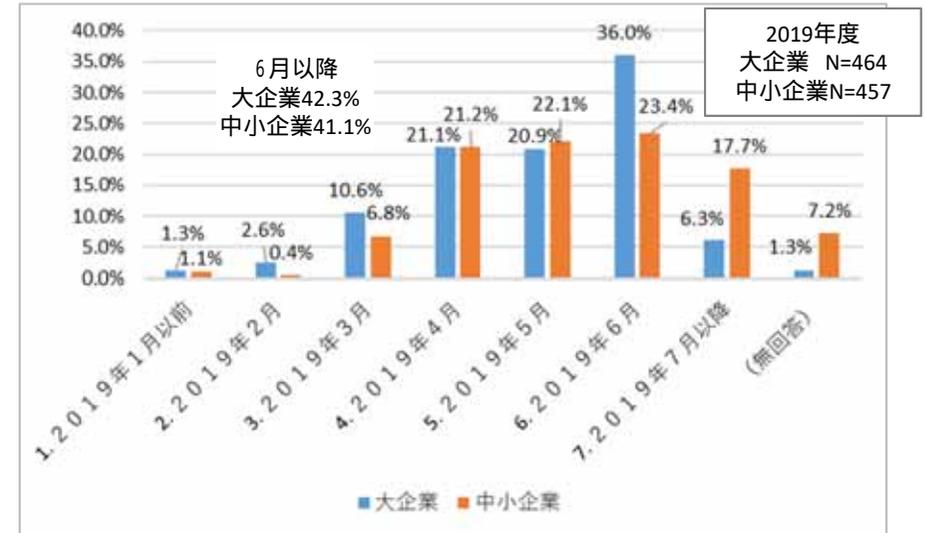
< 大企業 >

- ・6月の内々定が最も多い
- ・42.3%が6月以降に内々定を出し始めた
(昨年度比 10.7ポイント)

< 中小企業 >

- ・6月の内々定が最も多い
- ・41.1%が6月以降に内々定を出し始めた
(昨年度比 3.8ポイント)

内々定を出し始めた時期は、いつでしたか(当てはまるものを一つ選択)

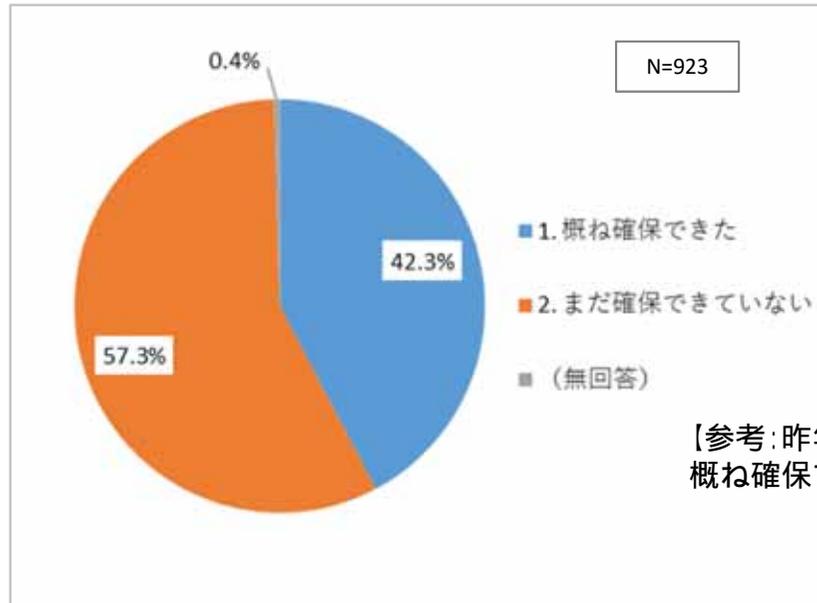


従業員数300人未満と回答した企業を「中小企業」、従業員数300人以上と回答した企業を「大企業」とした。本年度採用活動を実施し、かつ従業員数について回答のあった大企業464社、中小企業457社について集計。

採用予定者数の確保状況（8月1日時点）

< 企業全体 > 42.3%が「概ね確保できた」、一方で57.3%が「まだ確保できていない」

現時点で、本年度の採用予定数を確保できていますか（当てはまるものを一つ選択）



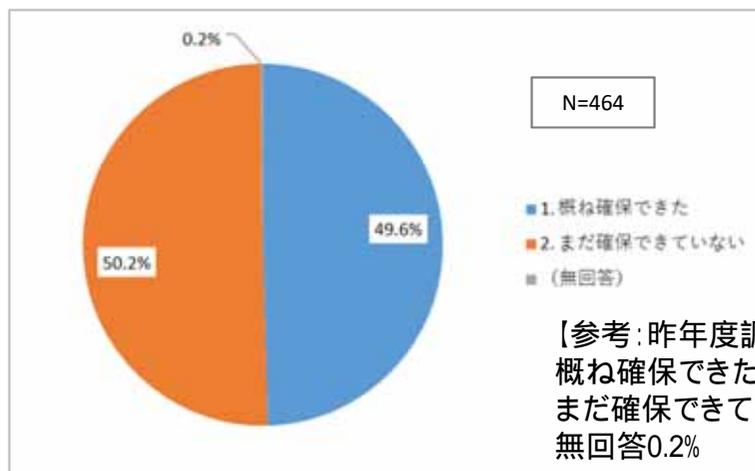
【参考：昨年度調査(N=957)】
概ね確保できた38.0%、まだ確保できていない61.4%、無回答0.5%

< 大企業 > 「確保できた」との回答は49.6%

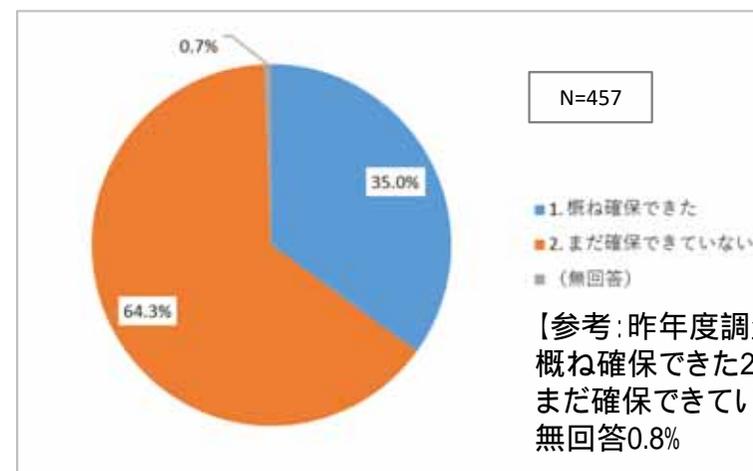
< 中小企業 > 「確保できた」との回答は35.0%

現時点で、本年度の採用予定数を確保できていますか（当てはまるものを一つ選択）

現時点で、本年度の採用予定数を確保できていますか（当てはまるものを一つ選択）



【参考：昨年度調査(N=461)】
概ね確保できた49.2%
まだ確保できていない50.5%
無回答0.2%



【参考：昨年度調査(N=494)】
概ね確保できた27.5%
まだ確保できていない71.7%
無回答0.8%

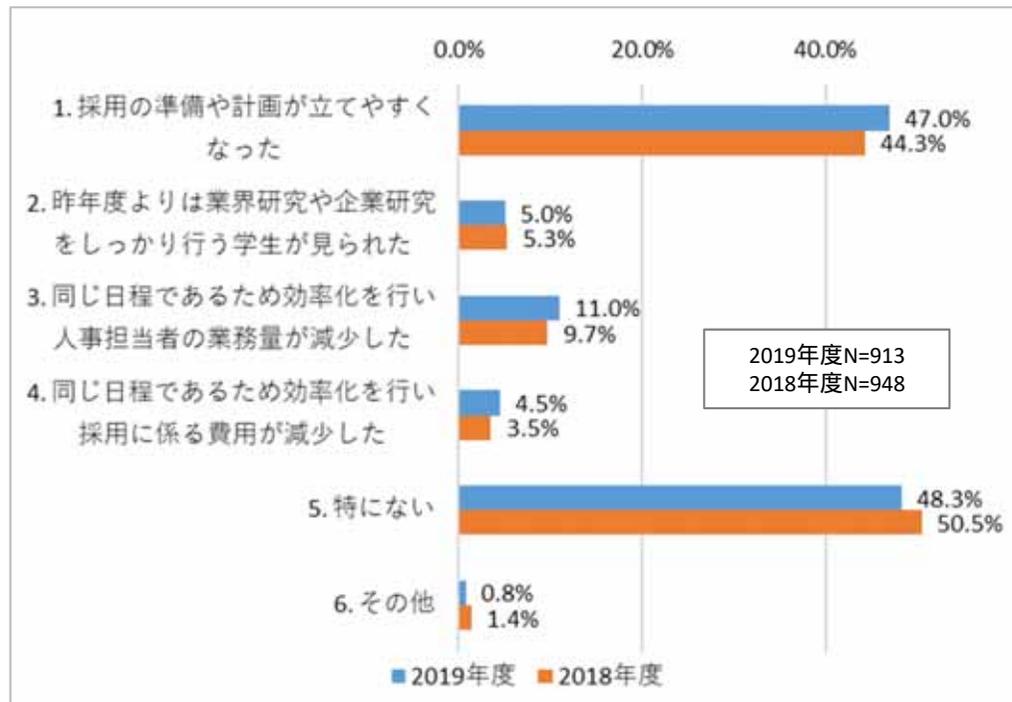
就職・採用活動時期が同じ時期となったことについて

就職・採用活動が昨年度と同じ時期(広報活動3月1日以降、採用選考活動6月1日以降)に設定されたことについて
<良い影響>「特にない」(48.3%)との回答が最も多く、次いで「採用の準備や計画を立てやすくなった」(47.0%)との回答であった。

<悪い影響>「開始時期を遵守せず、早期に採用選考活動を開始する企業があった」(41.3%)との回答が最も多く、次いで「特にない」(31.7%)との回答であった。

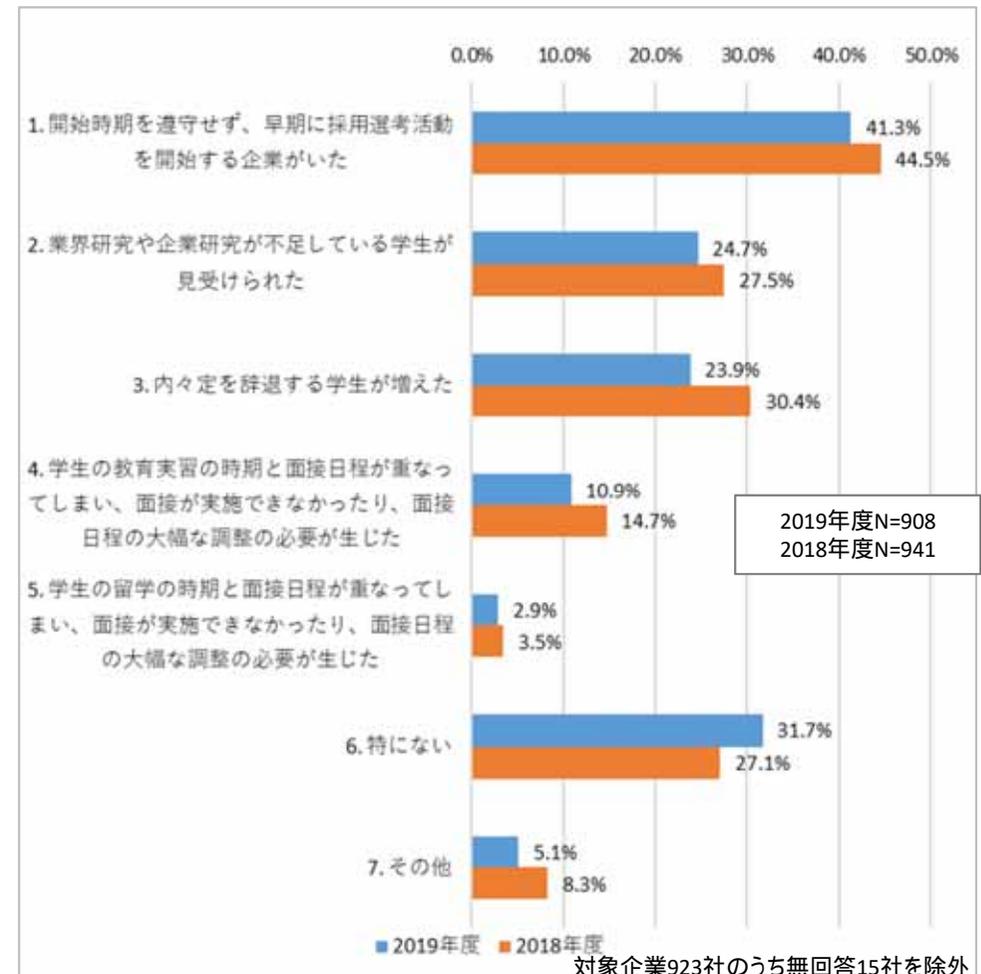
就職・採用活動の開始時期が昨年度と同様の時期に設定されたことについて、採用活動にどのような影響がありましたか
 (当てはまるものを全て選択)

(良い影響があったと思うこと)



対象企業923社のうち無回答10社を除外

(課題となったこと)



対象企業923社のうち無回答15社を除外

学生の学業等への配慮

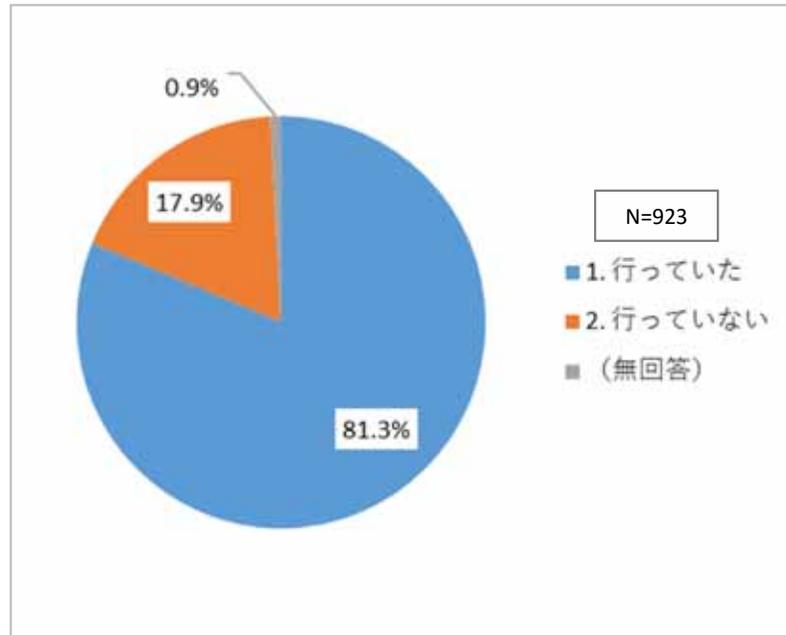
< 学生の学業等への配慮を行っていた企業 >

81.3% (前年度比 4.0ポイント)

< 行っていた配慮の内容 >

「説明会や面接日・インターンシップ実施日について、余裕を持って連絡するよう努めた」との回答が最も多く77.8%であった。次いで「授業等の事情に応じ面接の日程変更を行った」(64.9%)との回答が多かった。

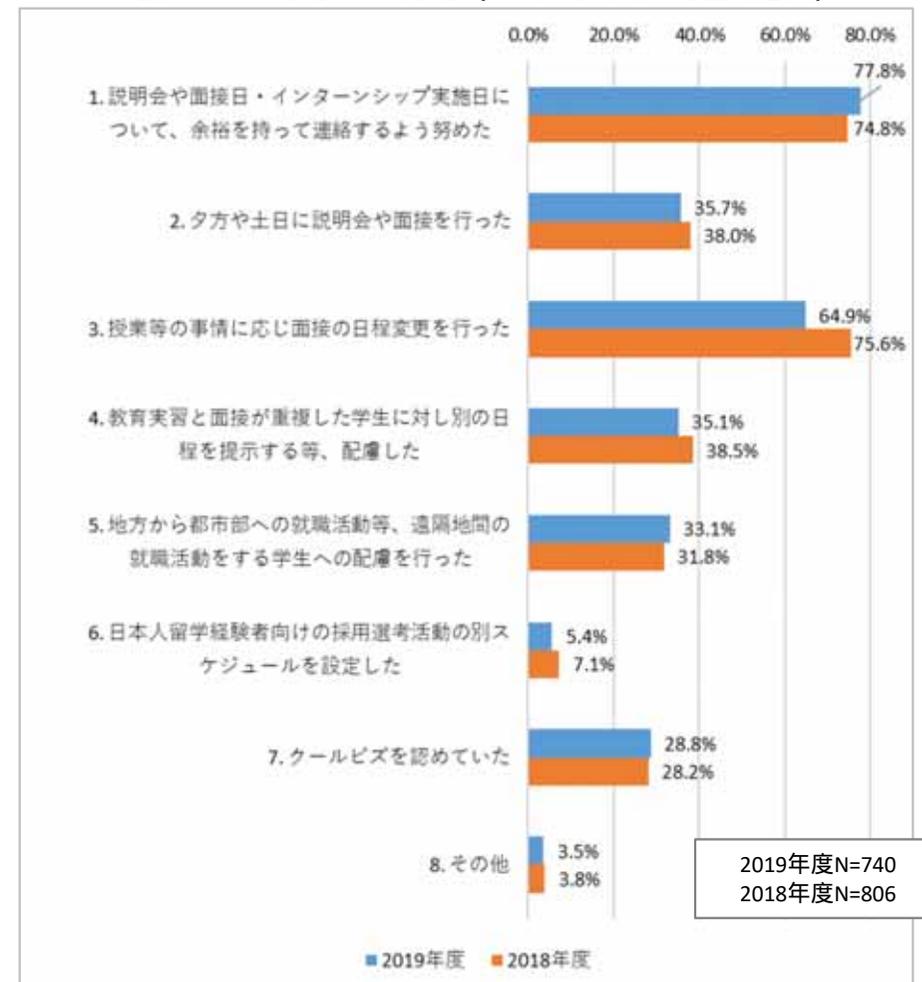
本年度の採用・広報活動・インターンシップにおいて、学生の学業等へ配慮を行っていましたか(当てはまるものを一つ選択)



【参考:昨年度調査(N=957)】

行っていた85.3%、行っていない14.0%、無回答0.7%

本年度の採用・広報活動・インターンシップにおいて、行っていた配慮の内容はどのようなことですか(当てはまるものを全て選択)



採用選考活動における学業成果の活用（1）

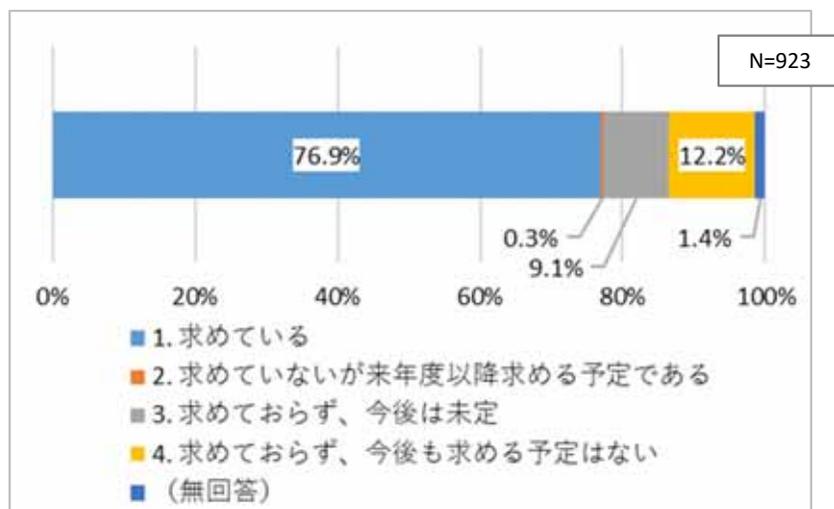
<採用選考活動において、学業成果(成績や履修履歴等)を重視しているか>

「大いに重視している」、「ある程度重視している」の回答を合わせると52.3%であった。(前年度比 1.7ポイント)

<応募者全員に学業成果を表す書類やデータの提出を求めているか>

「求めている」との回答76.9%(前年度比 2.9ポイント)であった。

本年度の応募者全員に学業成果を表す書類やデータ(例えば、成績証明書や履修履歴等)の提出を求めていますか(当てはまるものを一つ選択)



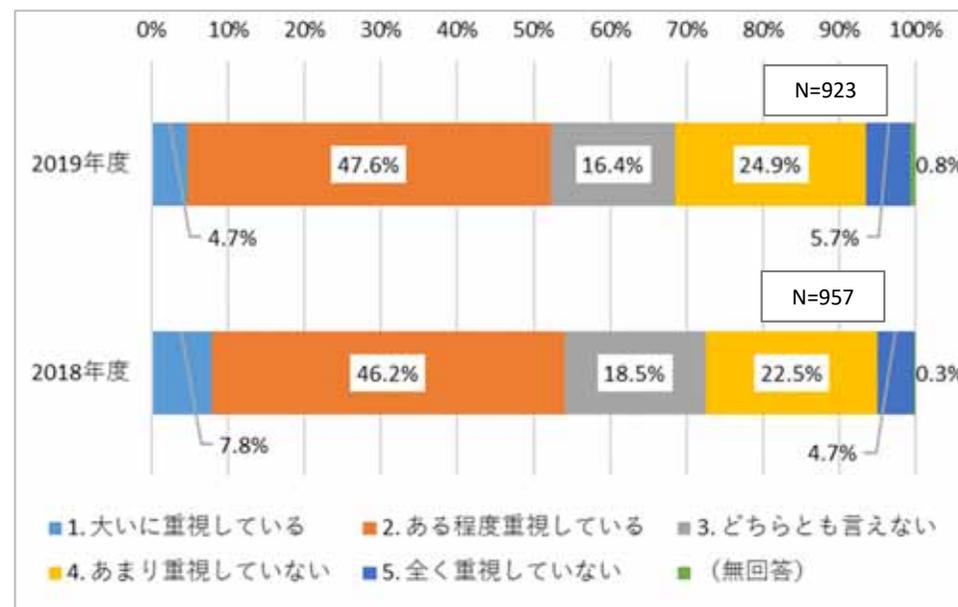
【参考:昨年度調査(N=957)】

求めている79.8%、求めていないが来年以降求める予定である0.9%、求めておらず今後は未定10.1%、求めておらず今後も求める予定はない8.7%、無回答0.4%

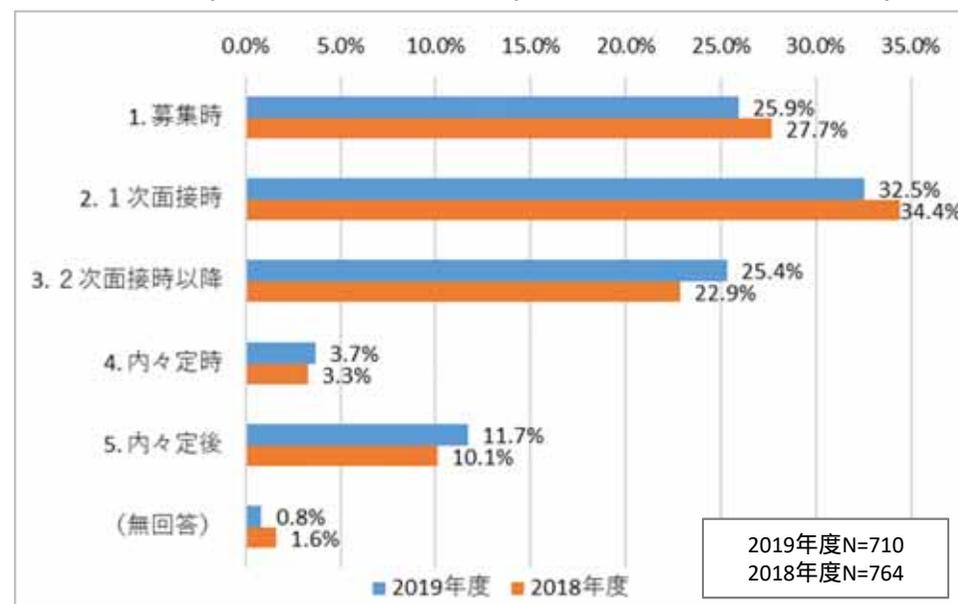
<学業成果を表す書類を提出させる時期>

「1次面接時」との回答が32.5%と最も多かった。

採用選考活動において、卒業・修了前年度までの学業成果(成績や履修証明書等)を重視していますか(当てはまるものを一つ選択)



どの段階で学生に学業成果を表す書類やデータ(例えば、成績証明書や履修履歴等)を提出させましたか(当てはまるものを一つ選択)



採用選考活動における学業成果の活用（2）

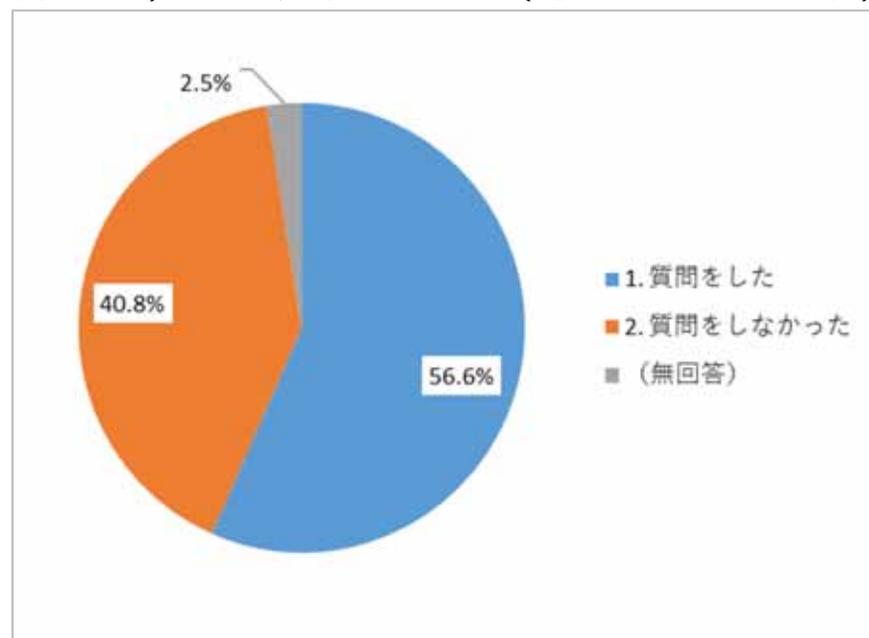
<面接の中で学業成果を表す書類に基づき、質問をしたか>

「質問をした」との回答が56.6%であった。（前年度比+0.1ポイント）

<質問をして良かった点>

「学業以外の評価と合わせることで、多面的な評価ができた」との回答が63.3%で最も多く、次いで、「学習成果について聞くことで、会社の求める能力と合致していることがわかった」との回答が多く46.7%であった。

面接の中で、提出された学業成果を表す書類やデータ（例えば、成績証明書や履修履歴等）に基づき、質問をしましたか（当てはまるものを一つ選択）

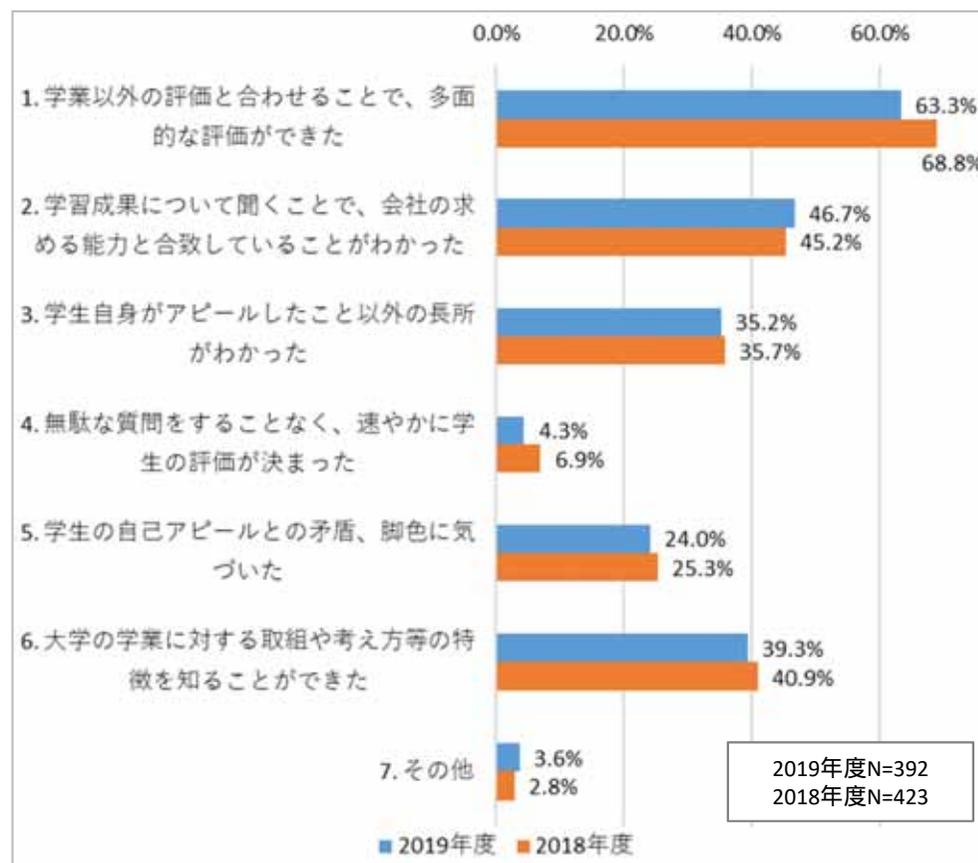


提出を求めていると回答した710社に質問

【参考：昨年度調査(N=764)】

質問をした56.5%、質問をしなかった41.4%、無回答2.1%

質問をしてよかったと思うことは何ですか（当てはまるものを全て選択）



面接の中で質問をしたと回答した402社に質問対象企業402社のうち無回答の10社を除外

留学経験者の採用等

< 留学経験者(日本人の学生で海外留学を経験した者)の採用について >

「留学経験者を積極的に採用したい」 11.2%(前年度比 3.7ポイント)

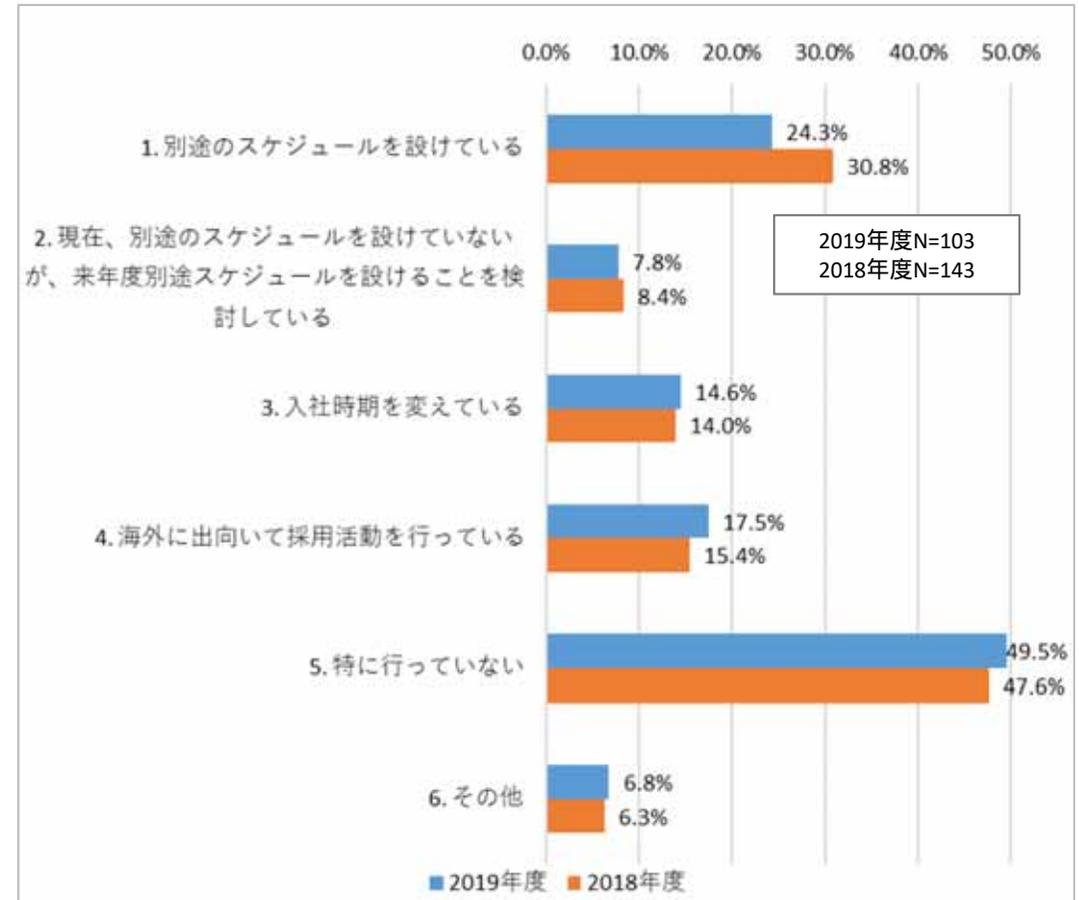
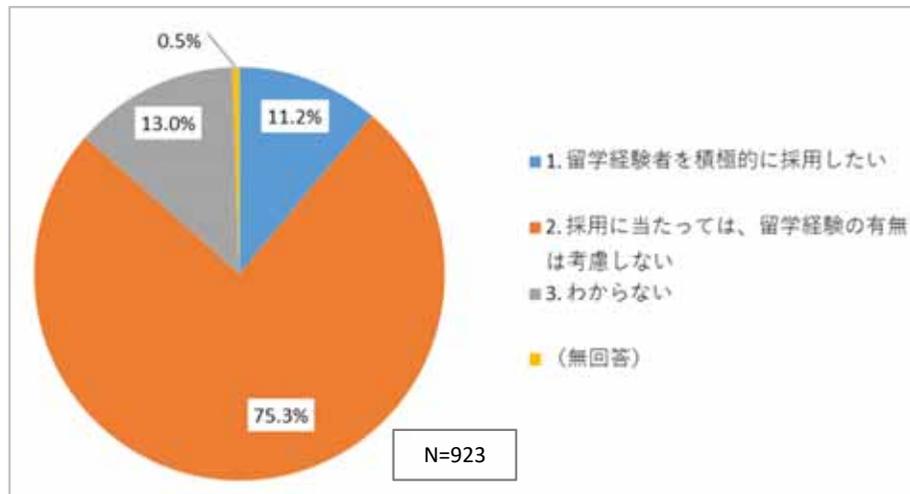
一方、「採用に当たっては、留学経験の有無は考慮しない」 75.3%(前年度比 + 3.1ポイント)

< 留学経験者の採用のために行っていること >

「別途のスケジュールを設けている」企業は24.3%(前年度比 6.5%)、一方「特に行っていない」は49.5%(前年度比 + 1.9ポイント)。

本年度の採用選考活動について、留学経験者(日本人の学生で海外留学を経験した者)の採用のために行っていることは何ですか(当てはまるものを全て選択)

留学経験者(日本人の学生で海外留学を経験した者(留学中も含む))の採用についてどのようにお考えですか(当てはまるものを一つ選択)



【参考:昨年度調査(N=957)】

留学経験者を積極的に採用したい114.9%、採用に当たっては留学経験の有無は考慮しない72.2%、わからない11.9%、無回答0.9%

「留学経験者を積極的に採用したい」と回答した企業103社について集計

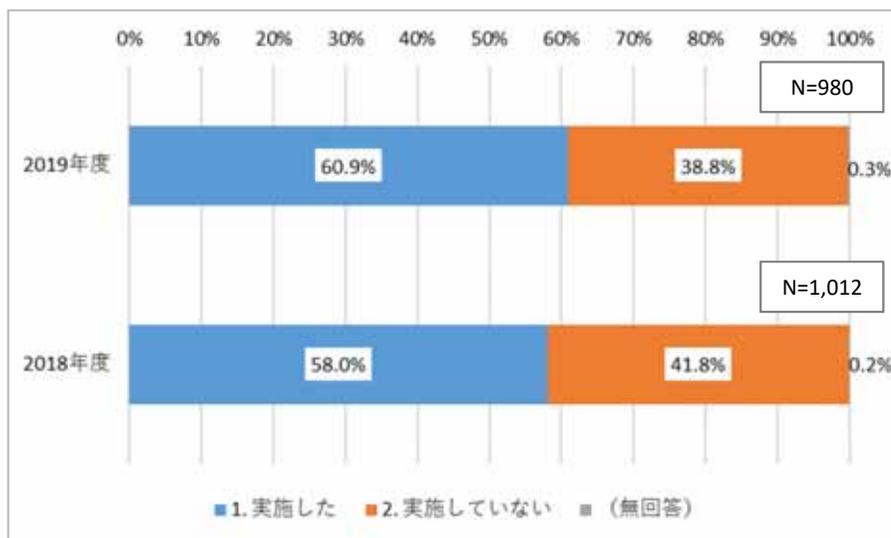
インターンシップ(1)

<インターンシップの実施状況> 「実施した」 60.9%(昨年度比+2.9ポイント)

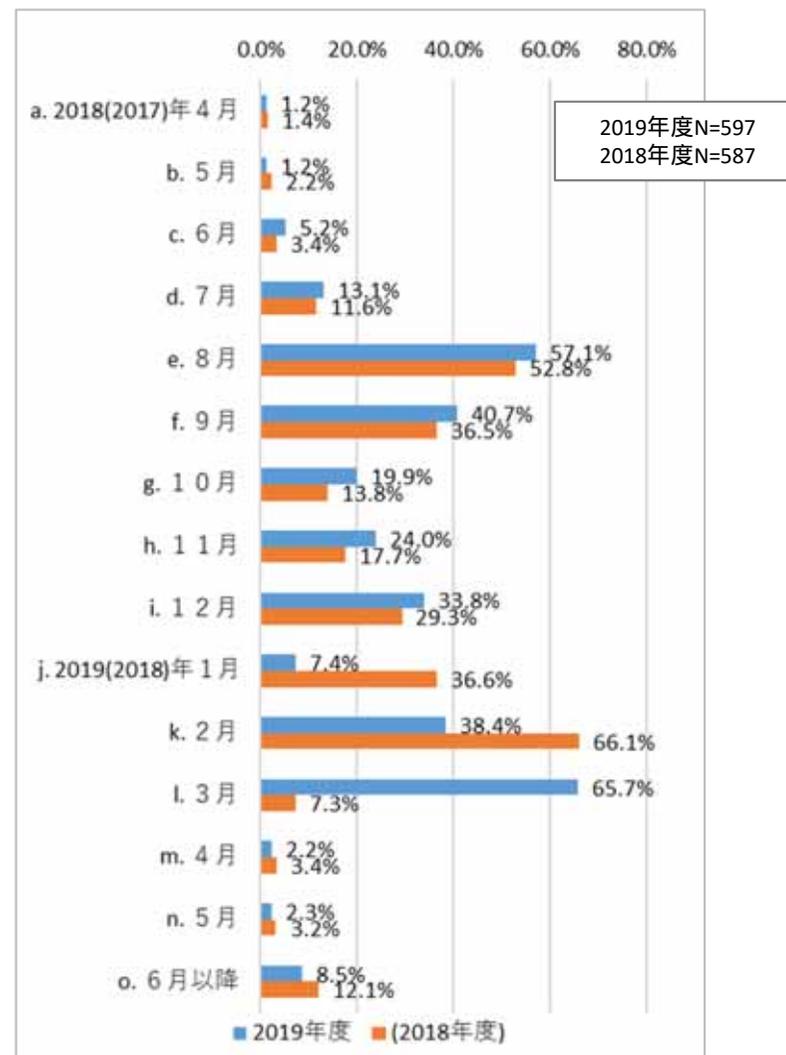
<実施時期> 「3月」65.7%(前年度比+58.4%)が最も多く、次いで「8月」57.1%(前年度比+4.3%)。

<実施日数> 「1営業日」が最も多く57.6%(前年度比+9.7%)、次いで「2~4営業日」 20.3%(前年度比 2.4%)。

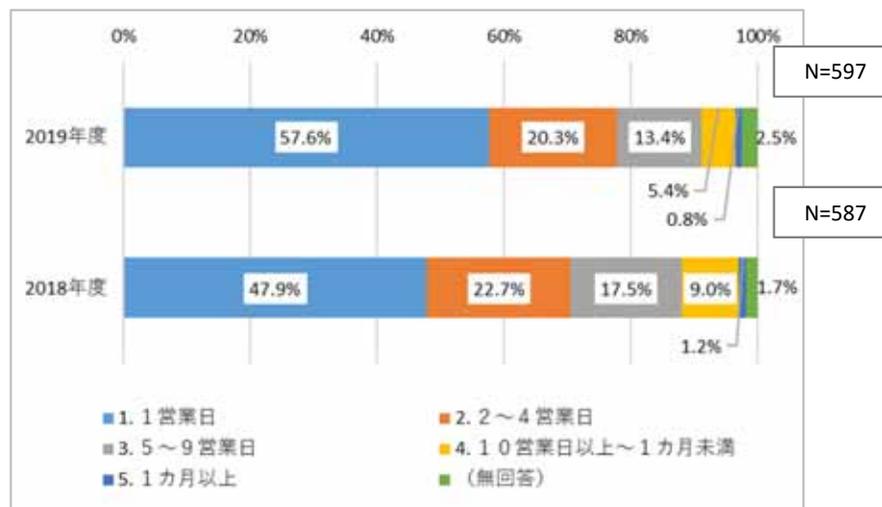
今年度卒業・修了予定者を対象としたインターンシップを実施しましたか
(当てはまるものを一つ選択)



インターンシップを実施した時期はいつですか(当てはまるものを全て選択)



1回あたりのインターンシップについて、実施日数は何日間ですか(当てはまるものを一つ選択)



インターンシップを実施したと回答した597社に質問

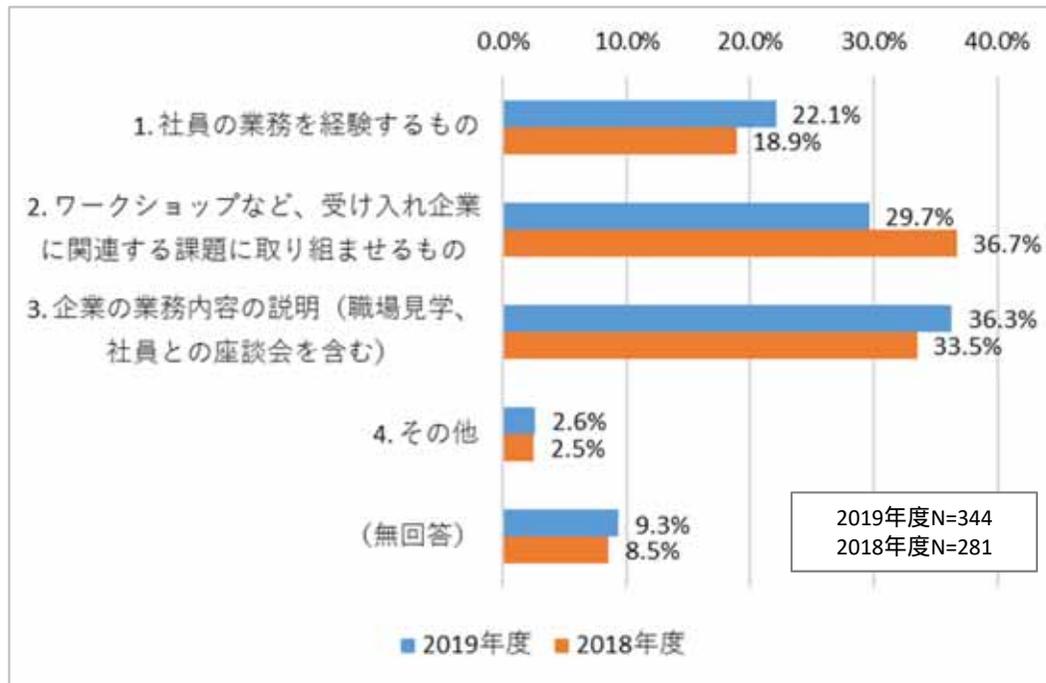
インターンシップを実施したと回答した597社に質問

インターンシップ(2)

< 1営業日で実施しているプログラムの内容 >

「企業の業務内容の説明(職場見学、社員との座談会を含む)」36.3%(昨年度比2.8ポイント)が最も多く、次いで「ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組みさせるもの」29.7%(昨年度比 7.0ポイント)であった。

1営業日のインターンシップの内容はどのようなものですか(当てはまるものを一つ選択)



実施日数を1営業日と回答した344社に質問

(2~4営業日の場合)



(5~9営業日の場合)



(10営業日~1カ月未満の場合)



(1カ月以上の場合)



インターンシップ(3)

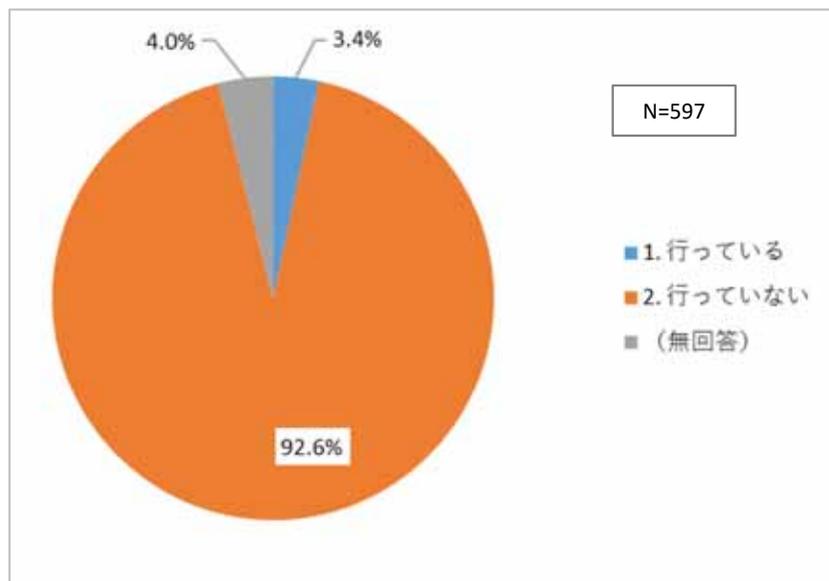
<インターンシップのプログラムの中で、採用活動を行っているか>

「行っていない」 92.6% (前年度比 + 0.1ポイント)

<インターンシップ実施時期におけるプログラムの日数の状況>

実施が最も多い「3月」のインターンシップにおける「1営業日」のインターンシップは65.8%(258社)、次いで実施が多い「8月」のインターンシップにおける「1営業日」のインターンシップは50.4%(172社)であった。

インターンシップのプログラム中で面接や試験などの採用活動を行っていますか
(当てはまるものを一つ選択)

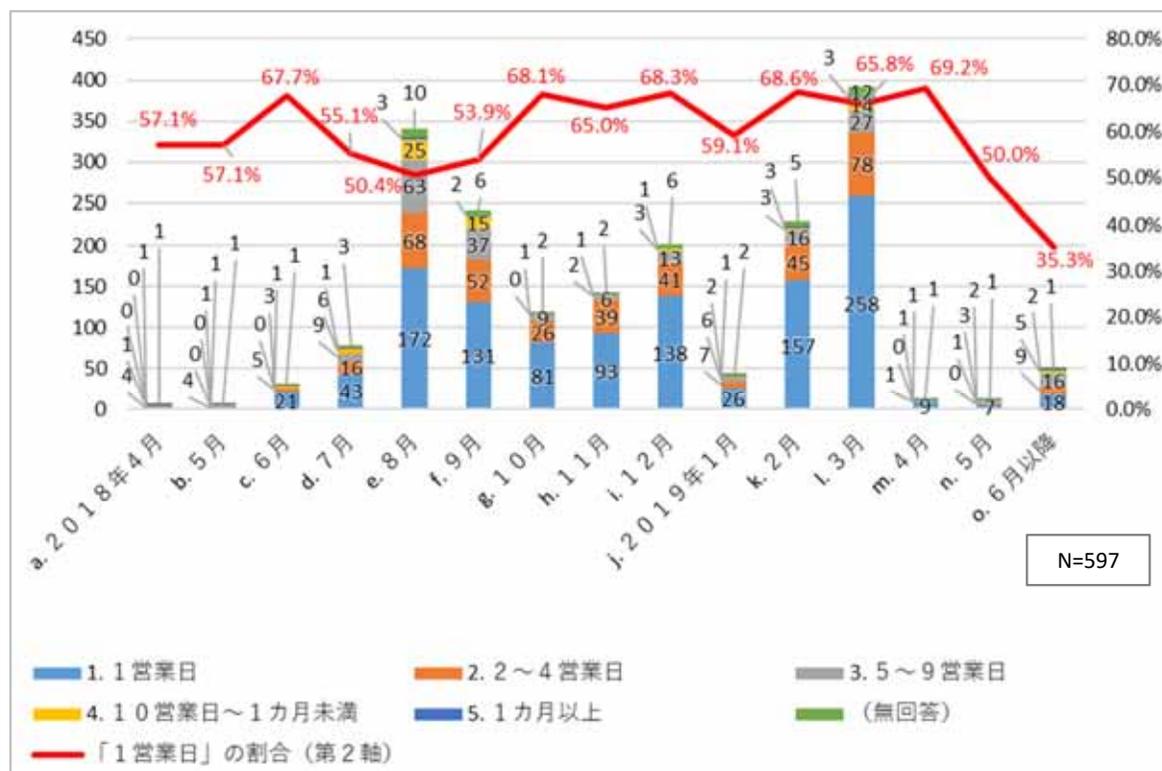


インターンシップを実施したと回答した597社に質問

【参考: 昨年度調査(N=587)】
行っている3.6%、行っていない92.5%、無回答3.9%

インターンシップを実施した時期はいつですか(当てはまるものを全て選択)

1回あたりのインターンシップについて、実施日数は何日間ですか(当てはまるものを一つ選択)



インターンシップを実施したと回答した597社に質問

【参考: 昨年度調査(N=587)】

「2月」の「1営業日」58.2%(226企業)、「8月」の「1営業日」35.2%(109企業)

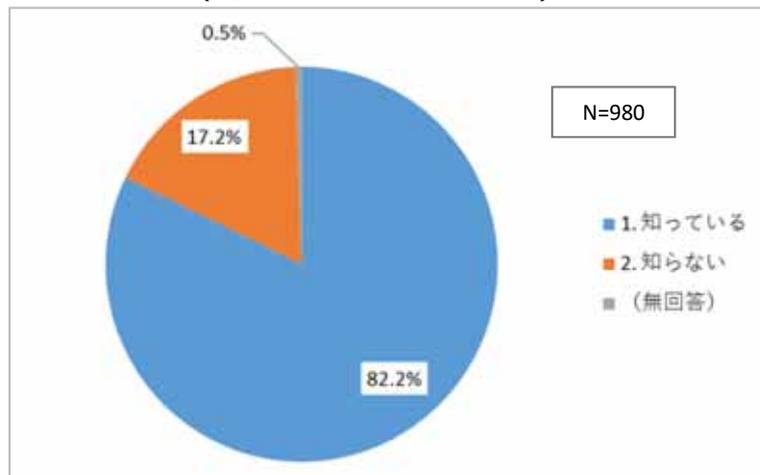
来年度の就職・採用活動時期について（１）

<周知状況> 「知っている」との回答が82.2%、「周知があった」との回答が41.6%

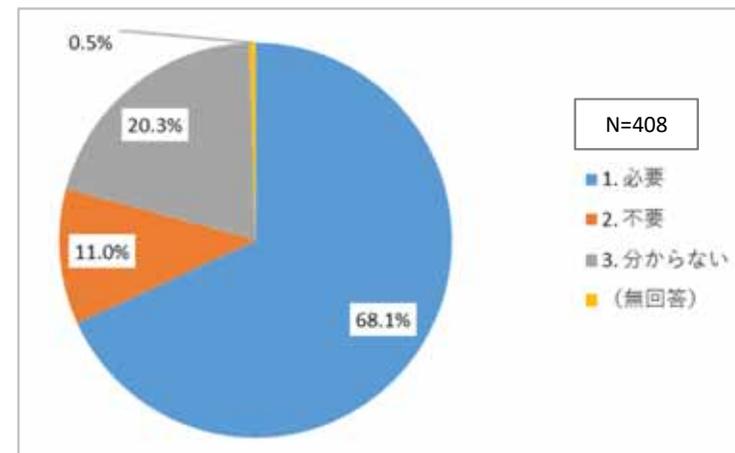
<ルールの要否> 「必要」との回答が68.1%、「不要」との回答が11.0%

<現在のルールへの賛否> 「賛成」57.2%、「反対」41.7%

来年度の就職・採用活動時期の設定について知っていますか
(当てはまるものを一つ選択)

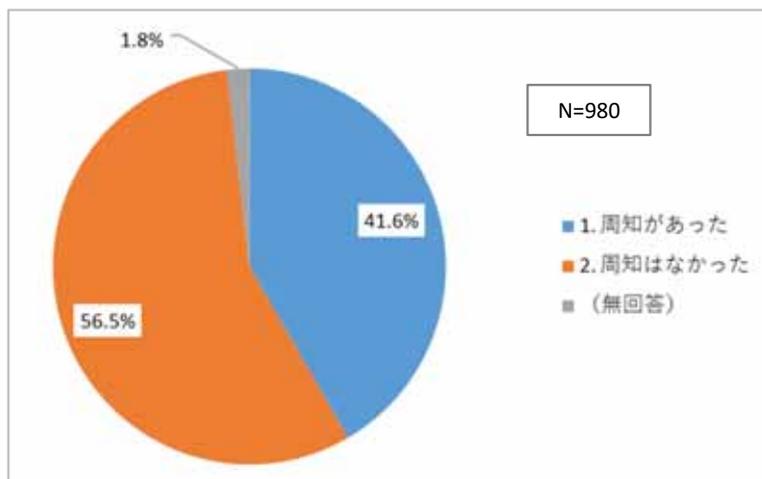


就職・採用活動の日程について、何らかのルールは必要ですか
(当てはまるものを一つ選択)

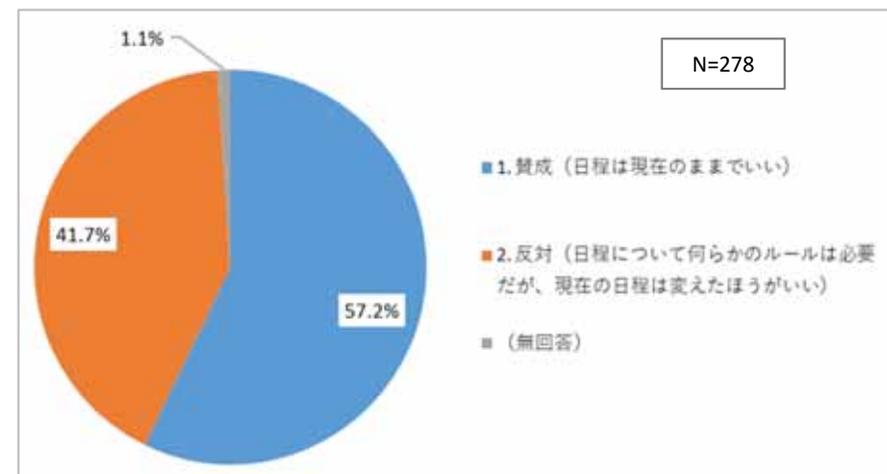


周知があったと回答した408社に質問

来年度の就職・採用活動開始時期が本年度と同様の時期に設定されたことについて、貴社に対して経済団体・業界団体、大学等から周知はありましたか (当てはまるものを一つ選択)



就職・採用活動の日程に関する現在のルールの内容 (広報活動3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降) に賛成ですか (当てはまるものを一つ選択)



周知があったと回答し、ルールが必要と回答した278社に質問 16

来年度の就職・採用活動時期について（２）

< そもそも就職・採用活動開始時期が設定されていることについての考え >

「現在の開始時期でよい」との回答が最も多く32.2%、次いで「どちらともいえない」との回答が22.8%、「広報活動は自由に開始した方がよい」との回答が13.3%、「いずれの開始時期も自由に設定した方がよい(開始時期の設定は不要)」との回答が12.3%と続く。

そもそも就職・採用活動開始時期（広報活動3月、採用選考活動6月）が設定されていることについてどう考えますか
（当てはまるものを一つ選択）

